

4年間、広陵は変わりましたか？

↓SNSでも発信中!↓



4年間の活動をまとめました!

29歳 広陵町議会副議長

ちぎた慎也

広陵町の未来は明るい!

広陵町の未来は明るいでしょうか。そんな生意気すぎる一文ではじまるチラシを4年前に広陵町のみなさんにお届けさせていただきました。4年間町議会議員として活動をさせていただいて、その答えが「YES」だと自信をもって言えます。広陵町には多くのまちづくりのプレーヤーがいらっしやって、たくさんの方々がとてもポジティブにまちづくりに関わっています。この自分達のまちを自分達でつくっていくという姿勢と熱量が、広陵の未来への希望です。

しかし、4年間の中で多くの課題も見つけることができました。紙面は限られていますが、私の4年間の活動そして見えてきた課題をまとめてみました。改めてみなさんと一緒にこれからの広陵町のことを考えたいと思います。

千北慎也

私と同級生の彼は1期4年の任期で、若さと行動力を原動力とした献身的な仕事ぶりで、私たちに希望を与え、広陵の発展に大きく貢献してくれました。彼は若手でありながらも、町の問題を深く理解し、即座に対処するための具体的な行動を起こすことに非常に長けています。また、長期的な目線に立ち、広陵町の持続可能な発展を目指す姿勢を持っています。私は彼とともに広陵町の未来を作りたいと思います。次世代を担う若き政治家へ、みなさまからのご指導ご鞭撻をお願いします。

後援会長 野村泰嵩

地域での活動

多くの出会いに恵まれた皆さんの活動に関わらせていただきました。

広陵町商工会青年会



くつしたのまち歩こう会
町内の子ども達を対象に靴下工場を見学する事業を企画しました!ただ、僕自身が当日コロナで行けないというオチがありますが、



広陵かぐや姫まつり
広陵町最大のイベント、広陵かぐや姫まつりで約10年ぶりのビンゴ大会を実施しました!司会をさせていただきました!

葛城青年会議所



讃岐マルシェ
竹取物語縁の「讃岐神社」にてマルシェを開催!広陵の店舗に集まっていたいただき、普段とは違う讃岐神社を楽しんでいただきました。



輝け!奈良の可能性フェス
奈良県営馬見丘陵でフェスティバルを開催!北エリアに奈良のキッチンカーを集め、ステージでは加護ちゃんを中心としたパフォーマンスを実施!



赤部自警団
地元の自警団でだんじりやとんど焼き、年末夜警を行っています。僕にとっては大事な現世代との意見交換の機会です。



トウジノハナビ
コロナ禍の2020年の冬至の日にクラウドファンディングで資金を集め花火を上げました。地域のつながりの大切さを実感。



あのナスの思い出
広陵ナスを発信するためナスを使った流しソーメクを長龍ブリュワーパークで開催!子ども達に楽しんでもらいました。



竹馬クイズラリー
畿央大学の学生と広陵町・河合町の町民でつくるクイズラリーに参加。学生さん達からいつも元気をもらっています!

サポーター募集中

ちぎた慎也の活動に共感いただきご協力いただけるサポーターを募集しております!

- ▶ **ポスティング**...1枚からでもうれしいです!
- ▶ **座談会**...どんな小さな集まりでも大丈夫です!オフラインでもオンラインでもOKです!
- ▶ **SNSでのシェア・いいね**...とてもはげみになります!
- ▶ **カンパ**...チラシの発行や勉強会への参加などに使わせていただきます。

他にもこんな企画をまちでやりたいねんけど!みたいな相談も大歓迎です!

▶▶▶
フ申サ
ォーしポ
ー込ター
ムみ
▶▶▶



▶▶▶
フ申カ
ォーしン
ー込パ
ムみ
▶▶▶



プロフィール

- 1994年3月23日生まれ
- 広陵西小/広陵中/畝傍高校/大阪大学法学部国際公共政策学科卒
- 2016年 ITベンチャー企業(株)エクス入社
- 2019年 FirstStep開業(主にIT事業を手掛ける)
- 2020年 広陵町議会議員選挙1,630票をいただきトップ当選
- 2022年 広陵町議会議会運営委員会 副委員長
厚生建設委員会 副委員長
関西若手議員の会 事務局長
- 2023年 広陵町議会副議長
広陵町商工会青年部 副部長
葛城青年会議所 副理事長
- 趣味 読書、年初の山登り
- 好きな食べ物 いちごタルト

誰も夢を諦めなくていいまち/社会へ。

4年間、町議会議員として活動をさせていただき、みなさまとお話をさせていただくなかで、こうあって欲しいな、と思うまち/社会の形が見えてきました。4年前に掲げたビジョンに照らしつつ、4年間の活動の総括をさせていただきます。

1 こどもまんなかのまちづくり

「こども基本法」施行を皮切りに地方自治体でも「こどもまんなか」社会の実現に向けた施策が展開されています。広陵町の、日本の未来を担うこども・若者達が安心してのびのびと成長し、それぞれの夢に向かって力強く歩めるまちづくりが必要です。

一般質問

●R3.3月「広陵町における食育の現状とオーガニック給食の導入について」...2022年10月25日の中学校給食に、一品目だけですが採用いただきました!

●R3.6月「ヤングケアラーの現状把握と対処方法について」
「GIGAスクール構想の進捗はどうか」

●R6.12月「こどもまんなか社会の実現に向けて地方自治体でできることを」...こどもや若者の課題が複雑化多様化するなか、行政だけで対応することは不可能で、民間団体との連携が必要と訴えました。等々

アクション

●若者議会の開催/こどもまんなかサポーター宣言の実施

●地域の駄菓子屋型いばしょ「にしやん」の設立補助

●子育て支援団体「ほほえみ」の企画サポート

これ▼から

▶こども達の「居場所作り」を促す制度やこども達や保護者をサポートするための仕組み(スクールソーシャルワーカー等)の拡充

▶整備されたタブレットを活用し、様々な職種の方々や、海外を含めた多様な地域の方々との交流の機会の増加

2 なりわいが元気なまちづくり

みなさんご存じの通り「くつしたのまち」として日本一の靴下製造量を誇る広陵町は製造業が強いまちですが、伝統的になすやいちごの産地でもあります。また、近年は車でのアクセスの良さから飲食店を中心としたサービス業も盛んです。こうした広陵町を支える”なりわい”が元気であれば、経済の好循環を広陵町に起こすことができ、豊かなまちづくりが可能です。

一般質問

●R3.3月「広陵いちご」のブランド化戦略について」

●R3.12月「町主導でさらなるIT導入の後押しを!」
「ふるさと納税を活用し、讃岐神社の整備を!」

●R4.12月「大阪・関西万博を活用し、観光もできる靴下の町に。」
「使える、活きる、ふるさと納税の運用を。」等々

アクション

●靴下ブランドの発信拠点の整備をサポート

●広陵町産ナスを使った流しナスソーメンイベント

「あのナスの思い出」開催

●かぐや姫縁の地、讃岐神社を活用した「讃岐マルシェ」開催

これ▼から

▶大和高田市と連携したKoCo-Bizをさらに活用し、靴下産業の海外展開と農業はブランド化及び消費地とのマッチングの推進

▶複業人材やUIJターンを活用した町内事業所のデジタル化推進

▶大阪・関西万博を見据え、靴下工場のオープンファクトリー化や農業体験を兼ね合わせ「訪れたくなる」広陵町の実現

3 みんなが安心できるまちづくり

広陵町には元気な高齢者の方がたくさんおられます。また、「KEEPはつつ教室」なども各地域で実施されています。しかし、寂しい想いをされている方や地域との繋がりが薄れてしまっている方がおられることも事実です。世代にかかわらずみんなに居場所があって、安心して暮らすことができるまちづくりが必要です。また、来るべき南海トラフ地震への備えも欠かすことができません。

一般質問

●R4.3月「要介護者がコロナ濃厚接触者の場合の対応について」

●R4.6月「広陵町版パートナーシップ宣言制度の実施を!」
...県内の他自治体と連携し、画期的な広域での”ファミリーシップ”制度の実現に向けて準備中です。等々

アクション

●地元サロンへの参加や、コロナワクチンのWEB予約のサポート

●認知症カフェへの参加

●令和6年能登半島地震の災害ボランティアセンターでの現地サポート

これ▼から

▶KEEPやサロン、認知症カフェの担い手の育成と外部の民間団体との連携

▶防災訓練等を通じた防災意識の醸成と他団体と連携した受援体制構築マニュアルの整備の推進

4 議会・議員からの徹底的な情報の発信!

僕自身、自らが議員になるまで広陵町議会の活動や各議員のみなさんの活動をあまり知りませんでした。もちろん、自分自身が積極的に情報を取りにいっていなかったことにも原因がありますが、情報発信のあり方は見直すべきだと考えました。

アクション

●議会のインターネット配信の実現...2020年当時の坂野議長と議会のインターネット配信の実現をいたしました。議会事務局にはインターネット配信の予算が何年もつけられていたがなぜか執行されていませんでした。

●議会報告会のYouTubeでのライブ配信の実施

●読みやすく、情報が届く議会だよりへのブラッシュアップ...左下のQRコードにまどました。さらに改善していきたいのでご意見ご感想お待ちしております!

●若者の意見を町政に届けるための「広陵町若者議会」の開催

●個人として、年4回の活動報告チラシの発行とYouTubeライブでの活動報告の実施やSNSへの投稿を継続

これ▼から

▶「委員会」も含めた全会議のライブ配信の実現

▶参加しやすい議会報告会の実施

▶参年4回の「議会だより」だけでなく、議会としてもっとタイムリーに

情報発信を行い、町民のみなさまと建設的な議論を行える方法の模索

5 住み続けられる”広陵”を目指して

2020年の初めての選挙のとき、当時26歳だった僕は「20年後、30年後も現役世代の僕は、子ども達の世代、孫の世代まで当事者意識をもち、責任感を持った意思決定ができます」と訴えました。上記の4つにはグルーピングできませんが、持続可能なまちを作る!という観点で行政に行ってきた提案や質問を抜粋しておきます。

DXの推進

●R2.6月「公式LINEの活用で、”届ける”情報発信を」「公式LINEの活用で、住民参加のハードルを下げる」...登録者の属性や興味ごとに配信内容を分けたり、町民側から情報のアップロード(危険個所の報告等)ができるようになりました。

●R5.12月「広陵町のDXを含むデジタル推進の今後の方針について」

▶広陵町はまだ人口が増えています、日本全体の人口が減っていくなかで、多様化複雑化する社会課題に対処するためには、デジタル技術の適切な活用が不可欠です。その際はもちろんデジタルに慣れていない方への配慮も重要です。僕はデジタル技術を活用し、行政事務の効率化が進めば、むしろデジタルが苦手な方に丁寧な対応をするための時間と心の余裕が生まれると考えています。

官民連携

▶当選以来、様々な行政課題に対して「官民連携」でのアプローチを訴えてきました。民間企業にはたくさんの課題解決へのノウハウやリソースがあります。一方で、行政が立ち向かっているまちの課題は、民間企業にとってはビジネスチャンスになり得ますし、何より、社会課題を解決したい!というモチベーションのベンチャー企業はたくさんあります。そういった企業と適切に連携していくことは、広陵町の課題解決能力を確実に向上させることに繋がります。

全ての一般質問は
下記QRコードで
ご覧いただけます!



一般質問



議会だより

文字が多くてすみません!どこにでも説明に伺います。

E-mail : info@shinya-chigita.net

TEL : 080-2443-0579 事務所 : 広陵町三吉478-1